

# [早坂効果利用反重力装置 とグラビフライヤー比較]

2023/05/20

浦野 良一

反重力研究の発端、弱い相互作用の対称性の破れ！なら、一番弱い重力ではどうか？ベータ崩壊と反重力は左手系

ベータ崩壊における核からの放出電子の方向

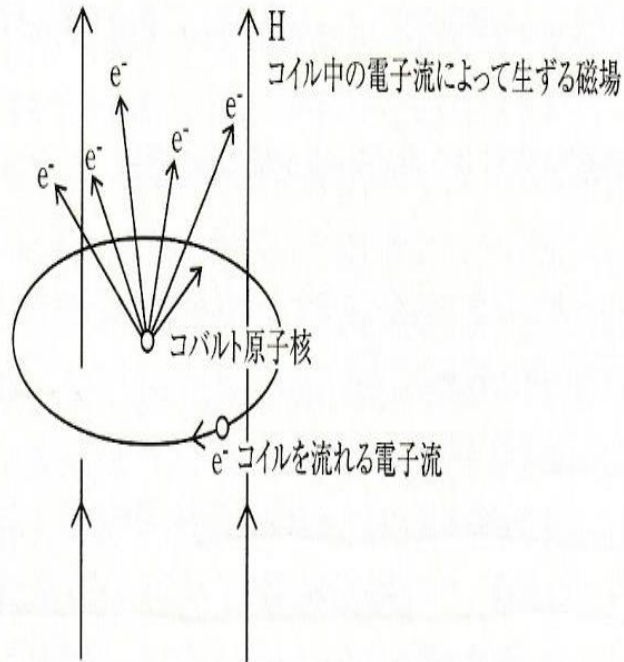
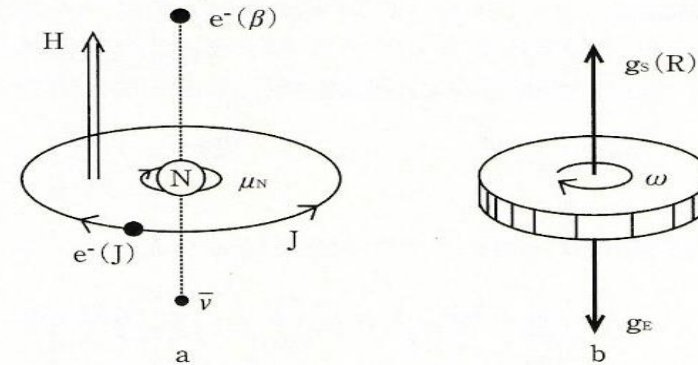


図1

コバルト60のベータ崩壊と右回転系での反重力



- a: コバルト60のベータ崩壊。e<sup>-</sup>(β)とe<sup>-</sup>(J)、μ<sub>N</sub>とe<sup>-</sup>(β)は左手系を形成
- b: 右回転で生成される反重力、ωとg<sub>s</sub>(R)は左手系を形成
- e<sup>-</sup>(β): コバルト60の原子核から放出される電子
- μ<sub>N</sub>: コバルト60の原子核の磁気モーメント
- J: 磁場Hを作るためのコイルに流れる電流
- e<sup>-</sup>(J): 電流Jに対応している電子流
- ν̄: 反中性微子
- g<sub>s</sub>(R): 右回転体によって生成される反重力加速度
- g<sub>E</sub>: 地球による重力加速度

図2

# 早坂秀雄氏の“右回転”反引力効果

**右回転(上から見て右回転)による重量減少、落下時間長い(反引力)効果**

[右回転]  
 質量200g、  
 回転半径3Cm  
 程度で  
 12,000  
 ~18,000rpm  
 の回転で  
 10~15mg重  
 の重量減少  
 1.7mの落下で  
 10万分の1秒  
 落下時間が長  
 い。

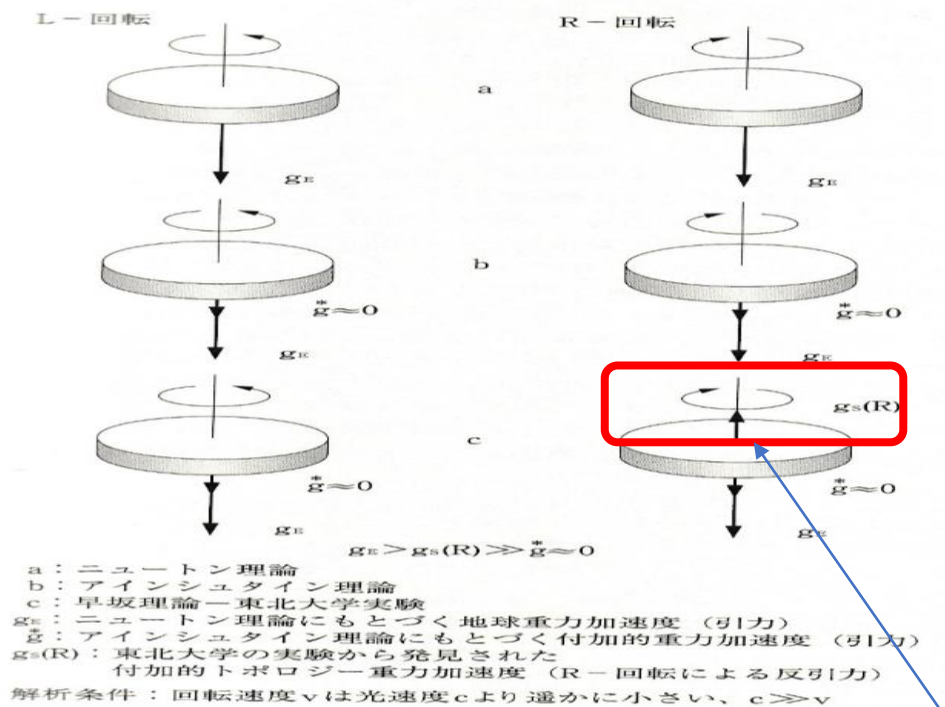


図3

**右回転による反引力効果**

**右回転効果**を利用した“**磁性流体回転型**”

**反重力推進機関(強磁性体のスピンと磁性流体の右回転を利用)**

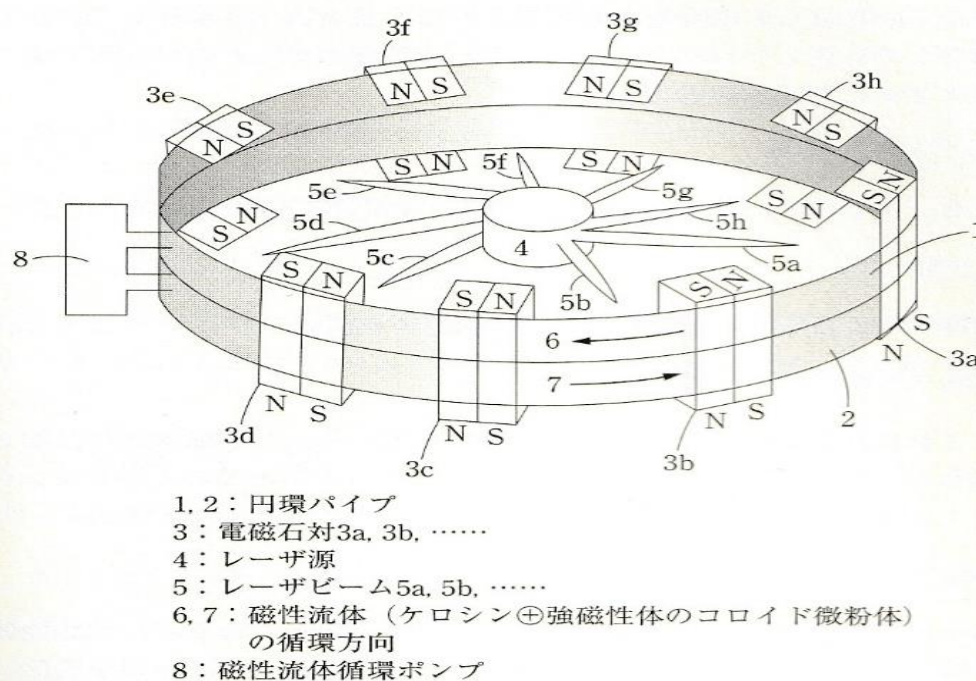


図4

# 早坂反重力機関とグラビフライヤー比較

## 早坂式反重力機関

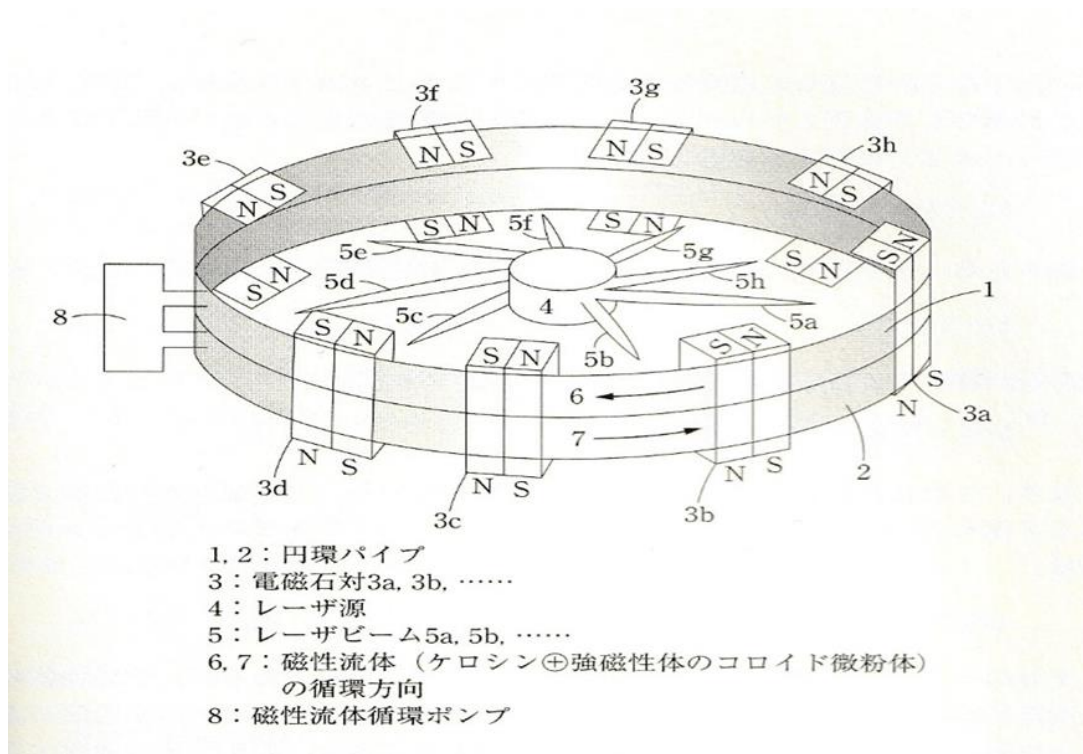


図5(図4と同図)

## グラビフライヤー

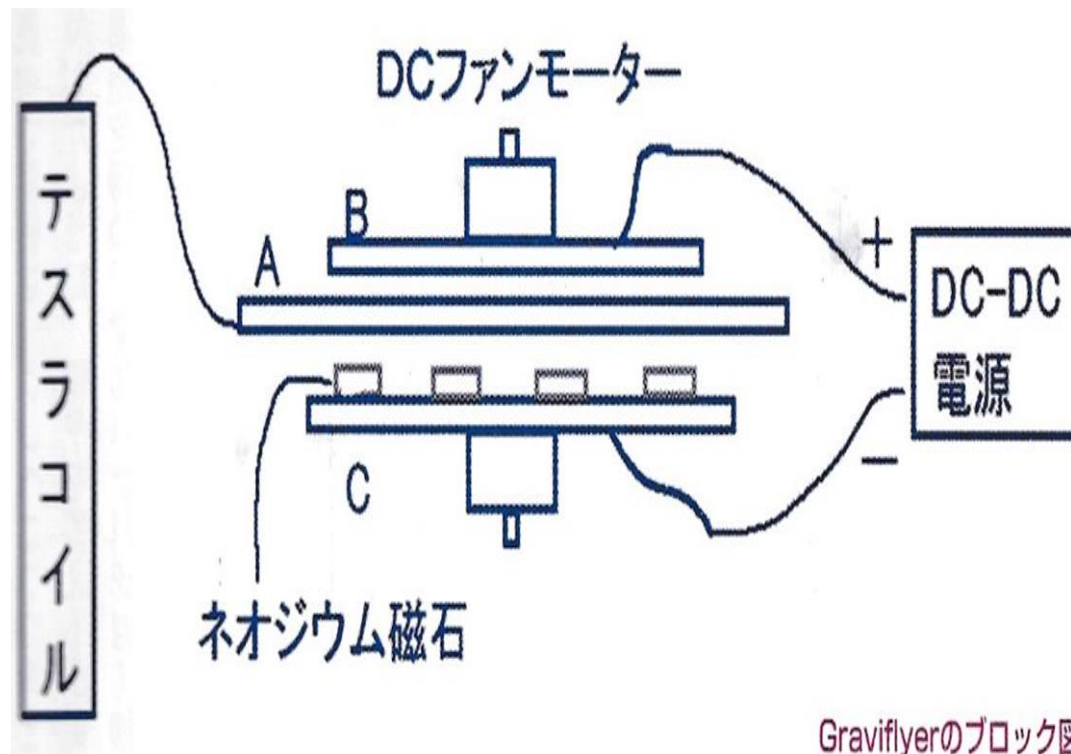


図6

Graviflyerのブロック図。